

6 その他の応急処置 (止血法・骨折処置・三角巾)

(ファーストエイド)

止血法

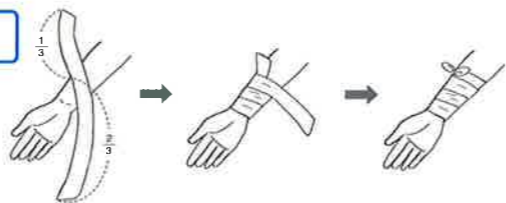
※一般に体内の血液の20%が急速に失われると出血性ショックという重篤な状態になります。出血した場合は、止血をして下さい。傷口を直接圧迫する方法が便利です。※出血している血液には、直接触れないようにして下さい。感染防止が大切です。



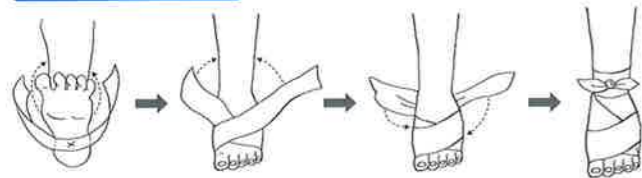
三角巾 (ケガ・出血)

※ケガ・出血等をした場合は、応急処置が必要です。その時便利なのが三角巾です。三角巾の使用方法です。

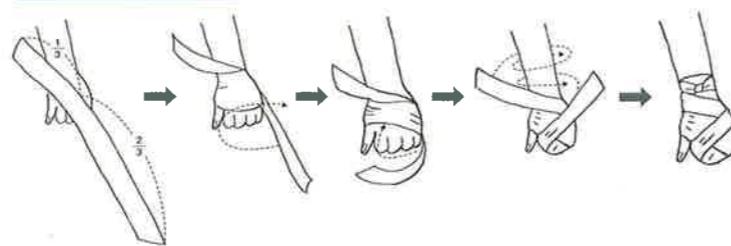
腕のケガなど



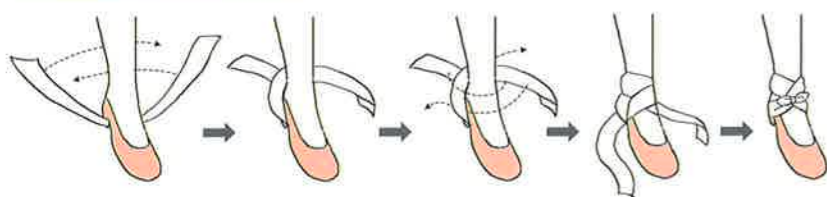
足のケガなど



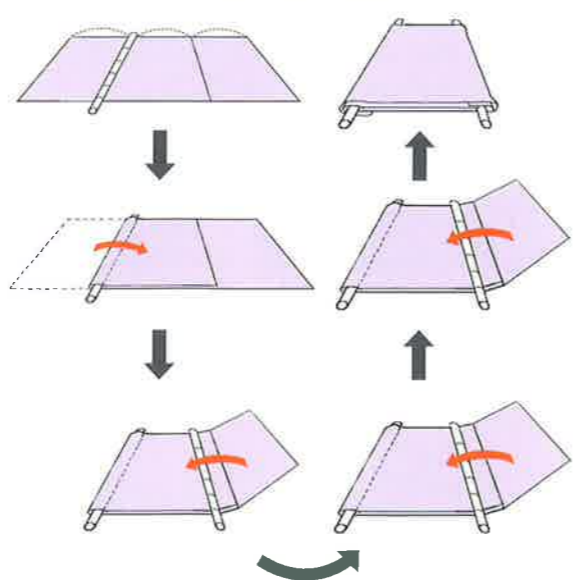
手のケガなど



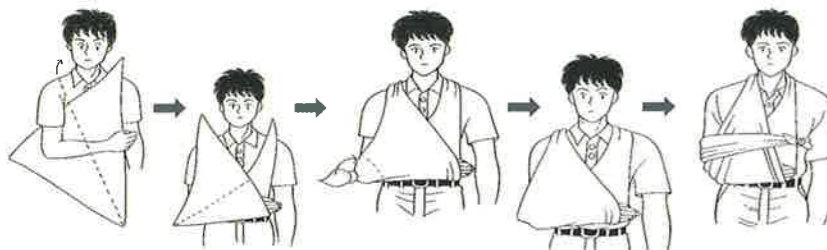
足首のねん挫の固定



毛布による応急担架の作り方



前腕の骨折時の固定方法



静岡市消防局・警防部 救急課 TEL.054-280-0199

葵消防署/TEL.054-255-0119 駿河消防署/TEL.054-280-0119 島田消防署/TEL.0547-37-0119
 千代田消防署/TEL.054-263-1295 清水消防署/TEL.054-367-3119 吉田消防署/TEL.0548-32-1141
 湾岸消防署/TEL.054-363-0119 日本平消防署/TEL.054-335-0119 牧之原消防署/TEL.0548-53-0119



普通救命講習

静岡市消防局

1 市民が行う一次救命処置(BLS)の手順



救急車の呼び方

1. 救急であることを伝える。
2. 救急車に**来てほしい住所**を伝える。
3. **具合の悪い方の症状**を伝える。
4. **具合の悪い方の年齢**を伝える。
5. **あなたのお名前と連絡先**を伝える。
6. **掛かり付け、持病**など応えられる範囲で伝えてください。



通報時の口頭指導は

1. 意識はありますか？
2. 呼吸はありますか？
3. 心肺蘇生法を知っていますか？
4. 口の中に物が詰まっていますか？
5. 出血はありますか？

人が倒れています

反応を確認する

反応あり

反応なし

大声で呼び応援を呼ぶ
119番通報・AED依頼

呼吸をみる

普段どおりの・呼吸あり

呼吸なし★

★死戦期呼吸は心停止として扱う

CPR (心肺蘇生法)

- ◎ ただちに胸骨圧迫を開始する
- ◎ 強く (成人は約5cm、小児は胸の厚さの1/3)
- ◎ 速く (100~120回のテンポで行う)
- ◎ 絶え間なく (中断を最小にする)
- ◎ 人工呼吸ができる場合は、30:2で胸骨圧迫に人工呼吸を加える
- ※ 人工呼吸ができないか、ためられる場合は胸骨圧迫のみを行う

AED装着

AED解析/電気ショックは必要か？

必要あり

ショック1回
ショック後ただちに
胸骨圧迫からCPRを再開★★

必要なし

ただちに胸骨圧迫から
CPRを再開★★

★★ 強く・速く・絶え間ない胸骨圧迫を！

救急隊に引き継ぐまで、または傷病者に呼吸や目的のある仕草が認められるまでCPRを続ける

2 救命処置の手順（16歳以上の心肺蘇生法とAED）

1. 反応を確認

※呼びかける、肩を軽く叩く
※119番通報・助けを呼ぶ



※AEDを持ってきてもらう

2. 呼吸を観察

※胸・腹部の動きを見る



3. 胸骨圧迫

※胸の左右の真ん中に胸骨があり、この骨の下半分を両手で圧迫する
※圧迫の深さは約5cm沈み込むように強く・速く100~120回のテンポで行う



6. 電気ショック

※ショック後のメッセージに従う
※心肺蘇生法を約2分間行う
※その後のメッセージに従う



4. 人工呼吸

※胸の上がりが見える程度吹き込む
※約1秒かけて、2回実施
※人工呼吸は、「省略可能」



5. AED・到着

※AEDが近くにあれば早期に実施
※AEDのメッセージに従う



3 小児・乳児（心肺蘇生法とAED）

小児（1歳以上16歳未満）

1. 胸骨圧迫

※胸の左右の真ん中に胸骨がありこの骨の下半分を片手又は両手で圧迫する
※胸の厚みの1/3まで圧迫
※強く・速く100~120回のテンポで行なう



2. 人工呼吸

※胸の上がりが見える程度吹き込む
※約1秒かけて、2回実施
※人工呼吸は、「省略可能」



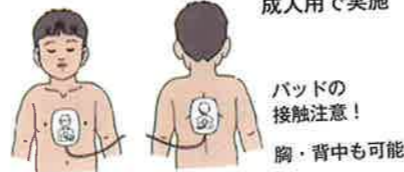
3. AED装着

※小児用パッド（モード）は、未就学児（およそ6歳）まで ※小学生からは成人用パッド（モード）を使用する ※小児用パッド（モード）ない場合は、成人用で実施



3. AED装着

※小児用パッド（モード）を使用 ※小児用パッド（モード）ない場合は、成人用で実施



乳児（1歳未満）

1. 胸骨圧迫

※両乳頭を結ぶ線より少し足側の胸骨を指 2本で圧迫
※胸の厚みの1/3まで圧迫
※強く・速く100~120回のテンポで行う



2. 人工呼吸

※口対口・鼻人工呼吸
※胸の上がりが見える程度吹き込む
※約1秒かけて、2回実施
※人工呼吸は、「省略可能」



ポイント

- ◎ 胸骨圧迫をしっかりと行ってください。
- ◎ 人工呼吸は感染防止等が図れない場合は、実施しなくても良いです。
- ◎ AEDが到着したらスイッチを入れ、そのメッセージに従ってください。
- ◎ 傷病者からの感染防止を図ってから救命処置をしてください。
- ◎ 反応はないが、普段どおりの呼吸があり、嘔吐などがある場合は、「回復体位」を取り救急車が来るのを待ちます。



回復体位

4 AED使用の手順

- ◎ AEDは音声メッセージとランプで実施するべきことを指示してくれますので、それに従ってください。
- ◎ AEDを使用する場合も、AEDによる心電図解析や電気ショックなど、やむをえない場合を除いて心肺蘇生法をできるだけ絶え間なく続けることが大切です。
- ◎ 小児用電極パッドまたは小児用モードの使用は「未就学児」を対象とします。
- ◎ 乳児に対してもAEDを使用できます。
- ◎ 安全に使用するためには以下の手順で行います。

1. AEDの準備

※AEDを持ってきてもらう
※頭の横あたりにおく



2. 電源を入れる

※ふたを開け電源を入れる
※メッセージが流れ、その指示に従う



3. パッドを貼る

※パッドを貼る準備をする
※貼付薬・ペースメーカー・水ぬれ等を確認する



4. 解析・ショック

※メッセージに従う
※『ショック』が必要かどうかというメッセージが流れたらショックボタンを押す



5 気道異物の除去方法

- ◎ 気道異物による窒息とは、たとえば食事中に食べ物が気道に詰まるなどで息ができなくなった状態です。いったん起こると死に至ることも少なくありません。窒息による死亡を減らすために、まず大切なことは窒息を予防することです。
- ◎ 飲み込む力が弱った高齢者などでは食べ物を細かくきざむなど工夫しましょう。食事中にむせたら、口の中の食べ物は吐き出してください。
- ◎ もし窒息への対応方法がわからない場合は、119番通報をすると電話を通してあなたが行うべきことを指導してくれますので、落ち着いて指示に従ってください。
- ◎ 万が一窒息してしまった場合は、以下の対応をしてください。

窒息のサイン

※両手でのどを押さえ苦しそうにしている



成人・腹部突き上げ法



※腕を後ろから抱きかかえるように回す。
※手で握りこぶしを作り、親指側を傷病者のみぞおちのあたりに当てます

成人・背部叩打法



※手の付け根で肩甲骨の間を力強く連続して叩きます

乳児・胸部突き上げ法



※片方の手に乳児の背中を乗せ、手のひら全体で後頭部をしっかりと持ち頭が下がるように仰向けにし、もう一方の指2本で胸の真ん中を力強く数回圧迫します

乳児・背部叩打法



※片方の手で乳児のあごをしっかりと持ち、その腕に胸と腹を乗せて頭が下がるようにしてうつ伏せにし、もう一方の手のひらの基部で背部を力強く数回たたきます